

令和7年7月三田市教育委員会定例会会議録

○開催日及び場所

令和7年7月28日(月)午後2時00分開会
午後3時42分閉会
三田市役所 南分館 601会議室

○議事日程

日程第1 開会
日程第2 前回会議録の報告、承認
日程第3 会議録署名委員指名
日程第4 会期の決定
日程第5 教育長の報告
日程第8 その他
日程第6 議事 議案第19号から議案第21号
日程第7 協議及び報告事項 報告第22号

○会議に出席した委員(5名)

1番 加嶋幸彦 2番 大野裕己
3番 中野文雄 4番 三木尚美
5番 ルーベッシュ裕子

○説明のため出席した者(11名)

学校教育部長 山本直也 学校教育部次長 井上久敏
(兼学校再編担当)
学校教育部次長 久保修一 教育総務課長 井上尚博
(兼教育総務課担当課長)
学校再編課長 上野 樹 学校教育課長 西浦健司
地域クラブ推進課長 藤田崇宏 教育支援課長 市原 敦
教育研修所長 出藏裕昭 学校給食課長 宮城信之
幼児教育振興課長 神影保緒

○代表学校長(2名)

中学校校長会代表 奥 雅喜
小学校校長会代表(代理) 水谷 裕司

○会議に関係した事務局員(3名)

教育総務課 齊藤健史
上仲あさ美
清家梨奈子

○会議録署名委員

教 育 長 加 嶋 幸 彦

教 育 委 員 大 野 裕 己

日程第1 開 会

○教育長
(加嶋 幸彦)

ただいまから令和7年7月第321回三田市教育委員会定例会を開会いたします。

○教育長
(加嶋 幸彦)

本日、議案第20号「令和7年度一般会計9月補正教育予算案に関する原案の決定について」は未確定の情報等を含んでいるため非公開とし、全ての議事及び報告等が終了した後に審議したいと考えますが、いかがでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長
(加嶋 幸彦)

では、議案第20号は非公開とすることといたします。非公開案件の資料については後ほどお配りいたします。

日程第2 前回会議録の報告、承認

○教育長
(加嶋 幸彦)

それでは前回会議録の報告を事務局よりお願いします。

○教育総務課長
(井上 尚博)

(令和7年6月26日教育委員会定例会会議録により説明)

○教育長
(加嶋 幸彦)

ご質問等ございませんでしょうか。
なければ、このように承認させていただきます。

日程第3 会議録署名委員指名

○教育長
(加嶋 幸彦)

それでは、会議録署名委員の指名に移ります。
会議録署名委員は、2番 大野裕己 委員にお願いします。

日程第4 会期の決定

○教育長
(加嶋 幸彦)

会期は本日一日、令和7年7月28日月曜日午後2時00分開会といたします。

日程第5 教育長の報告

○教育長
(加嶋 幸彦)

はじめに、私から先般発生しました本市教職員の逮捕にあたり、お詫びを申しあげます。

7月9日(水)、けやき台中学校の教職員が「面識のない20代女性の自宅に複数回押しかけた」として「迷惑防止条例違反」で逮捕されました。本市の教育に携わっております教職員が、このような事態を起こし、生徒の皆様、保護者の皆様に多大なご迷惑をおかけし、信頼を失うとともに、被害に遭われた方も、不安な日々が続き、精神的なダメージを受けられたことと思ひ、大変申し訳なく思っております。この教職員は、けやき台中学校をはじめ、三田市内の市立学校で勤務しております、かかわりのあった皆様にも、心に深い傷を負わせることになったと思っております。現在、本人は、警察署に勾留されており、捜査中ですので、詳しい内容につきまして、報道機関が報じております内容以上の情報を把握できていない状況です。教育委員会事務局では、翌日7月10日(木)に、臨時校長会を開催し、所属校の教職員の倫理観と規範意識を、より一層高めていくよう教育委員会から発出し、本市教育長の通知をもとに、各学校においてすべての教職員に綱紀粛正の徹底を指示しました。翌11日(金)には、19時から保護者説明会を開き、教育長及び校長がそれぞれ保護者の皆様にお詫びをするとともに、校長から事件の現況及び生徒や保護者等への心のケアなど、今後の対応について説明しました。教育委員会としましては、生徒や保護者、教職員の皆様の心のケアを行うため、当面の間、スクールカウンセラーを増員するとともに、学校の体制を変更するなどして、信頼の回復に向けて対応しております。当該教職員につきましては、捜査の状況を見ながら、任命権者である兵庫県教育委員会と連携し、厳正に対応してまいりたいと考えております。教育委員会では、このような事案が二度と発生することがないように、学校とともに取り組んでまいります。誠に申し訳ございませんでした。

これをおもちまして、私からのお詫びとさせていただきます。

○教育長
(加嶋 幸彦)

それではこれより報告にうつらせていただきます。

1) 「感謝と飛躍へのつどい」三田市表彰「さつき賞」及びPILLAR2025さんだチャレンジャーズアワード贈呈式出席
(7/1)

7月1日は、三田市政記念日です。この記念すべき日に、「感謝と飛躍へのつどい」を開催し、様々な分野で活躍された個人や団体に、三田市表彰「さつき賞」「PILLAR2025さんだチャレンジャーズアワード」を贈呈しました。「さつき賞」は、自治功労や社会福祉功労、消防・防災・防犯功労として2団体3名の方を表彰し、長年にわたり、三田市のまちづくりや地域づくりに貢献された功績を讃えました。「さんだチャレンジャーズアワード」は、昨年1年間にスポーツや文化活動などにおいて、チャレンジ精神をもって取り組み、市民に夢や希望を与える活躍を讃えるとともに、今後の挑戦と活躍に期待して、本市の出身者あるいは中学や高校に在籍、卒業して活躍された1団体12名の方を表彰しました。この功績が、次代を担う本市の子どもたちの励みとなり、様々な分野に挑戦するきっかけとなることを期待したいと思います。

2) 兵庫県教育委員会移動教育委員会 (7/3)

7月3日、ゆりのき台中学校にて兵庫県教育委員会移動教育委員会の訪問がありました。県教委が各地域の学校や教育施設を視察したのち、教育事務所において教育委員会を開催しています。今回、阪神地区では三田市を訪問され、本市が開発した生成AIのMIRAIノートの説明と実演を見学されました。次に、ゆりのき台中学校の校内サポートルーム「暖²ルーム(だんだんルーム)」と、3年理科の授業を見学されました。授業に関してはICTを効果的に活用され、生徒を引き付ける授業に感心されました。質疑応答では、MIRAIノートの機能や実証の状況についての関心の高さが感じられました。また、校長の提唱する「いっしょに」「支援」というキーワードを学校運営で実践されていることに共感されていました。

3) 令和7年度第1回三田市部活動の地域移行に向けた推進委員会
(7/4)

7月4日、三田市部活動の地域移行に向けた推進委員会を開催しました。この会は、三田市立中学校における部活動の地域移行に向けて協議する会であり、学識経験者やスポーツ団体関係者、教育関係者、保護者代表で構成されています。委員会では、本市の

地域クラブの地域展開に関する取組について説明した後、様々な課題等について協議しました。本市では、令和8年度の完全実施に向けて取り組んでおりますが、学校や関係団体のご意見を踏まえて迅速かつ適切に対応してまいります。

4) 命を大切に作る授業（藍小学校）（7/14）

7月14日午前、藍小学校で、三田市消防本部の出前授業を視察しました。当日は5年生の児童10名が参加し、救命救急士の方から配布された救命用のキットを活用し、研修用の動画を見ながら手順に従って心肺蘇生法を実習するとともに、AEDの使用方法を体験しました。子どもたちは、救命により救える命があることを認識し、個人及び協働で命を救うことの大切さを実感しながら実習に取り組んでいました。

5) 令和7年度第1回三田市生徒指導等問題対策委員会（7/14）

7月14日、第1回三田市生徒指導等問題対策委員会を開催しました。この委員会は、2013年度に条例により設置された委員会で、三田市の生徒指導のあり方を考えるための第三者機関としての役割を有しております。今年度も関西外国語大学の新井肇教授を委員長に、学識経験者やスクールカウンセラー、弁護士、スクールソーシャルワーカー、学校OBで構成しております。この委員会でのご意見を踏まえ、本市の生徒指導に関する様々な課題の解決に取り組んでまいりたいと思います。

6) 阪神7市1町教育委員会連合会令和7年度総会・研修会
（7/18）

7月18日（金）午前、西宮市役所東館7階において、阪神7市1町教育委員会連合会総会・研修会が開催され、総会後の研修会では、地域クラブの地域展開について、地元西宮市と川西市の取組が紹介されました。西宮市では、教育委員会を中心に公益財団法人西宮スポーツセンターが地域クラブの全体統括を担い、体育系としてえびすバスケットボールクラブ、文化分野としてさくらFM株式会社統括部長から、それぞれの取組状況について報告がありました。また、川西市教育長から先進事例として、地域クラブがもたらす新しい価値の創出について発表がありました。当市でも、今回の発表を参考に、例えば、地域クラブ事業の名称や参加団体の掘り起こし等さらに推進してまいります。

7) 令和7年度事業所合同説明会「地域社会共生フェスティバル」
（7/20）

7月20日（日）午後、三田市総合福祉保健センターで、「地域社会共生フェスティバル」を開催しました。三田市、教育委員会、ひまわり特別支援学校が主催し、市内の特別支援学校や小中学校等の児童生徒、その保護者や教職員の方を対象に毎年開催している事業です。今年度は、就労継続支援B型作業所やデイサービスなど、12事業所の方々にご参加いただき、各施設での生活支援や就労支援について説明していただきました。会場は、多数の参加者で賑わっており、ニーズの高さを実感するとともに、今後も利用者や施設側のニーズを踏まえた取組の必要性を感じました。

8) 令和7年度さんだサイエンスフェスティバル（7/26）

7月26日（土）三田市まちづくり協働センター（キッピーモール6階）で「令和7年度さんだサイエンスフェスティバル～川本幸民につづけ！三田の科学の祭典」に出席しました。この事業は、三田市子ども育成課が主催し、市の事業「こうみん未来塾」の全市版として毎年開催されています。市内の小中学校児童生徒の昨年度の理科自由作品が展示されたり、市内の教育研究機関や企業、専門家の皆様が科学を体験するとともに、すべての参加者の活躍、交流できる場とすることを狙いとしています。

当日は、小中高等学校の関係団体、市内の市民団体、企業など27団体による出展やステージ発表があり、子どもの好奇心に満ちた姿を目にすることができました。

私からは以上です。

○教育長
（加嶋 幸彦）

つづきまして、本来であればここで次第の日程第6の議事に入るところですが、議案第21号「令和8年度使用三田市立学校教科用図書採択について」の審議に時間を要するため、順番が前後しますが、先に日程第8その他にうつらせていただき、次回の教育委員会定例会開催のご案内と、小中学校代表校長からの報告をお願いしたいと思います。

日程第8 その他 の 報 告

○教育長
（加嶋 幸彦）

では、次回、8月の教育委員会定例会の日程について事務局からお願いいたします。

○教育総務課長
（井上 尚博）

8月教育委員会定例会の開催日時は令和7年8月26日（火）午後2時00分から、南分館601会議室で予定して

います。よろしくお願いいたします。

○教育長
(加嶋 幸彦)

それでは、各校長からの報告です。中学校代表校長より報告をお願いいたします。

○中学校校長代表
(奥 雅喜)

○部活動について

6月末に三田市総体、7月12, 13日に丹有総体が開催されました。非常に暑い中、熱中症指数を計測しながら安全に配慮して実施しました。市総体では、バスケットボールが行われた城山体育館は空調設備が整備されており、男女2試合を応援に行きましたが、とても快適で寒いぐらいでした。選手にとっては、良いパフォーマンスが発揮できたと思います。終業式明けからは、吹奏楽コンクール西阪神地区大会や、県総体が開催されています。暑い外の競技も、空調のある体育館の競技も、保護者や部員からの心からの声援を受け、生徒は全力で試合に臨み、最後まであきらめない姿が見られ、とても素晴らしい大会となりました。また、吹奏楽部においては7月13日に批評会があり、7月末の吹奏楽コンクール西阪神地区大会に出場し、それぞれが素晴らしい演奏を披露してくれました。各部活動は、県大会以上の上の大会に向け練習に励む生徒たち、残念ながら丹有大会で敗退した生徒は、新チームが始動し、暑さをものともせず秋の新人大会へ、吹奏楽部は地域のお祭りでの演奏や定期演奏会に向け努力しています。どの部活動も1年生の入部生徒は非常に少ないので、合同チームの枠組みを考え、新人戦以降は、非常に少ないチーム数になる競技も増えています。

○夏休みに向けて

夏休み前には三者懇談会を持ち、夏休みの学習や進路についてご家庭と相談し、夏休みの過ごし方についても確認しました。各学校では長い休みを前に、薬物乱用防止などの防犯教室や、情報モラル教室を行うなど生徒が安全に長期休業を送れるよう支援いたしました。学習に困り感を持つ生徒には、それぞれの学校で学習相談会を持ち、支援を続けています。また、夏休み明けに登校をためらうことが心配される生徒には、学級担任などが連絡を取り、適宜家庭訪問をするなど様子を注視し、安心して2学期が迎えられよう丁寧に対応していく予定です。3年生は進路実現のために学習に励み、自

分に適した学校選択のため、多くの学校のオープンスクールに参加しています。また、10月にある体育大会のため、夏休み中に3年生のリーダー達は学校で準備を重ねています。教職員は部活動指導や学習相談に励みながらも、市内各教科部会での研修会や、各学校で行われる様々な研修会（学習指導・生徒指導・教育相談・人権教育・救急救命法・ICT活用など）の研修を予定しています。忙しい2学期を万全の体制で迎えられよう準備します。

○教職員研修について

学期末には、各校で不祥事防止の研修に取り組みました。教育公務員としての信頼回復に向け、じっくりと時間をとり研修を実施しました。職場には、さまざまな事情を抱える教職員がいます。管理職も、それぞれの職員に寄り添い、声掛けや面談を行い、ストレスが大きくならないよう取り組んでいきます。先日の校長会でもありましたが、職員同士が慣れてきた中で、コミュニケーション不足にも注意し、職員の思いをしっかりと聞くことが大切だと思います。また、思い込みや、頭ごなしの叱責、感情にまかせた言動などパワーハラスメント等がないようにすることも大切です。そのような場に居合わせた者が、知らぬふりをせず、力関係で明確な抗議の意思表示があるとは限らないことを認識し、働きやすい職場をめざして職員とともに取り組んでいきたいと思ひます。

○小学校校長代表 代理(水谷 裕司)

○学校のようす

7月は、例年に勝る猛暑の日が続き、各小学校では、暑さ指数をこまめにチェックし、熱中症対策を最優先とした教育活動を進めてまいりました。そのため、外での活動はもとより、体育館での活動においても制限を設けないといけない状況も出てまいりました。また、急な大雨により、下校時間を遅らせたり、学校によっては引き渡しを行ったりするなどの対応をとったこともありました。夏休みに入り、こうした気象状況による急な児童や家庭への対応はひとまず収まることとなりますが、8月から9月中は気を抜けない状況が続くものにとらえ、気を引き締めていきたいと考えております。

○学校行事について

7月の各校での取組としましては、学期末に向けての締めくくりを各学級、学年で丁寧に取り組むとともに、夏休みの安

全・安心な暮らしに向けての指導なども積極的に進めてまいりました。また、学校によりましては、この間も水泳の民間委託での授業が進められました。さらに、6月下旬から7月にかけて市内8校が合同での実施を含め、自然学校を実施いたしました。自然学校では、暑さ対策に気を配りながらも、5年生の子どもたちにとって充実した活動が展開されました。子どもたちにとって、いつまでも心に残る思い出づくりとなり、これからも学校生活を共にする仲間とのきずなを深める機会にもなったことと思います。7月18日には終業式が行われました。暑さ対策として、オンラインで実施した学校もあると伺っています。式の中では各校長から、この1学期の頑張りを評価するとともに、楽しい夏休みにするための心がけなどについて話されました。子どもたちは、「あゆみ」を受け取り、1学期を振り返るとともに、楽しい夏休みに期待を膨らませ下校いたしました。こうして1学期を無事に終えることができましたのも、市教育委員の皆様、市教育委員会事務局の皆様にご指導、ご支援いただけただけのおかげと感謝しております。ありがとうございました。

○夏季休業期間の取組について

夏季休業がスタートし1週間がたちました。この期間、教職員は、各校での校内研修、また、校外での研修など、自己研鑽に励んでいます。夏季休業中に研修に励むことは、教員として貴重な取組だと思っております。また、この期間に、夏季休暇なども取得し、リフレッシュに努めることも大切だと思っております。夏季休業中に研修を積むとともに、十分リフレッシュする時間も設け、2学期からの教育活動に心身ともに充実した状態で臨んでいけるようにしたいと思っております。2学期には、自然学校や修学旅行、校外学習を予定している学校が多くあります。また、2校が9月下旬と10月に運動会を予定しております。その後も音楽会、研究発表会などを予定している学校もあります。夏季休業期間中、こうした学校行事等の準備もしっかり進めていきたいと思っております。

○教育長
(加嶋 幸彦)

ご報告ありがとうございました。

それでは、ここから長時間の審議に入りますので代表校長はご退室いただいてよろしいかと思っております。

《代表校長退室》

日程第6 議 事

○教育長
(加嶋 幸彦)

それでは本日の議事に入ります。
(1)教育委員会規則及び教育委員会規程の制定又は改廃を行う
ことについて

【三田市教育委員会事務委任規則第1条第11号関係】

議案第19号「三田市立認定こども園条例施行規則の一部を
改正する規則の制定について」事務局から説明をお願いいた
します。

○幼児教育振興課
長(神影 保緒)

議案第19号「三田市立認定こども園条例施行規則の一部を
改正する規則の制定について」事務局から説明

○教育長
(加嶋 幸彦)

何かご質問、ご意見等ございますか。

○教育委員
(三木 尚美)

今回の改正では1号認定の利用定員が減っているようです
が、特に問題はないですか。

○幼児教育振興課
長(神影 保緒)

今現在、認定こども園ありまふじ幼稚園の園児数が1号認定
の定員75人に対し17人、2号認定は定員15人に対し1
2人在籍しています。全体的に1号認定(幼稚園)の入園児
童数が減少傾向にあり、来年度は、2号認定(保育)の在籍
人数が増えるのではないかと推測されますので、1号認定の
利用定員を下げても受入は十分可能で、問題はないと考えて
おります。

○教育長
(加嶋 幸彦)

他にご意見等ございますか。
なければ、このように承認いたします。

○教育長
(加嶋 幸彦)

次の、議案第20号は、冒頭でお伝えしましたとおり非公開
となりますので後ほど審議いたします。

○教育長
(加嶋 幸彦)

つづきまして、議案第21号にうつります。
(3)教科用図書の採択を行うことについて

【三田市教育委員会事務委任規則第1条第15号】

議案第21号「令和8年度使用三田市立学校教科用図書の採択について」事務局から説明をお願いします。

○教育研修所長
(出藏 裕昭)

議案第21号「令和8年度使用三田市立学校教科用図書の採択について」事務局から説明。

○三田市立学校教科用図書選定委員会委員長(伊藤 博之)

「令和8年度使用三田市立学校教科用図書の採択について」三田市立学校教科用図書選定委員会の経過等を資料により概要説明。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長(足立 延也)

「令和8年度使用三田市立学校教科用図書の採択に関する答申」【学校教育法附則第9条の規定による一般図書】について、内容説明。

○教育長
(加嶋 幸彦)

ありがとうございました。
ここで少し休憩をとります。先ほどご説明にありました教科書の実物がございますので、手に取ってゆっくりご覧いただけたらと思います。

《10分間 休憩》

○教育長
(加嶋 幸彦)

それでは審議を再開します。
何かご質問、ご意見等ございますか。

○教育委員
(大野 裕己)

図書の実物を拝見して、子どもの多様なニーズに対応した内容やレイアウトの工夫、すべての子どもの学びやすさにも留意して推薦されていると思います。過去の選定では、教科のバランスという点において、理科や実技系を強化していきたいという方向性が示されていましたが、今回の選定において、教科間のバランスはどのように考えて進められたのですか。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長（足立延也）

調査委員会を立ち上げ、図書の推薦をいただく際、これまでの議論にもありました理科や社会が少ないといった意見も踏まえながら、意識的に推薦対象に上げていると聞いています。教科間のバランスにつきましては、全体を見ながら幅広く、汎用性が高くなるよう心掛けて調査を進めていただきました。

○教育長
（加嶋 幸彦）

他にご意見等ございますか。

○教育委員
（中野 文雄）

今のお子さんの特徴として、軽度のお子さんが多くなってきていることがうかがえます。自閉的傾向が顕著に課題としてあるお子さんがいる中で、どのような教科書を選定すべきかという点を考えながら選んでいただいたのだと思います。個別の指導計画や教育支援計画等に基づいて、学校や担任が子どもたちにとってどの教科書が一番良いのかを検討し、大変良い教科書を選んでいただいていることがわかります。一つは自立活動に活用できると思います。肢体不自由の子どもは、体を動かすことだけが自立活動ではなく、すべての教科の領域に合わせて、コミュニケーションや発音等の視点からも自立活動を進めていきますので、そういう視点に沿った教科書が網羅されていると思いました。もう一つはソーシャルスキルトレーニング（SST）です。今の学校が抱えている課題には、SSTは大変役立つと思います。選定いただいた中には、実物を掲示することで子どもたちに意識づけができ、反復しながら学習を進めていけるような教科書もありました。また、小集団で使用できたり、保護者との連携の中で家庭教育にも取り入れていけるのではないかと思います。子どもの興味を引くような色使いで、視覚的にも大変見やすく、良い教科書を選定いただいたと思います。ありがとうございました。

○教育長
（加嶋 幸彦）

他にご意見等ございますか。

○教育委員

教科書の採択には、三田市の特性のある子どもたちのため

(ルーベッシュ裕子)

に、これほどたくさんの教科書の中から選定いただいていることは大変うれしく思うと同時に、少し気になることもあります。これまでの自分の子育ての経験から、学校の先生方は「教科書を使う」ことが当然であるという考えを持っておられる印象を受けます。先生が子どものために一番だと考えて選ばれた教科書だと思うのですが、決まった教科書の説明だけでなく、これほどすばらしい教科書が推薦されているのであれば、子どもに合ったほかの選択肢も進めてもらえたらと思いますし、それを提案いただけるような関係性であった方が良かったのではないかと思いました。家庭との連携はとても重要であり、家族の中でも活用できるような教科書を共同で選んでいくことはとても大事だと思います。子どもにとって本当に最適な個別と考えたときに、なにが一番良いのかを考えて個々の選択をしていただけるとうれしいです。

○教育委員
(三木 尚美)

実物を手にとって見せていただいて、本当に良い教科書を選んでいただいていると思いました。教科書自体は子どもが使うものですが、子どもひとりでの学びが難しいものは、先生方にリードしていただきながら一緒に学習を進めていけると思います。今は障害があっても一般就労への期待が高まっています。今回選んでいただいた教科書は職業に関することや、働くことへの夢が持てるようなものを選んでいただいていると感じました。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長(足立延也)

今回の教科書選定は、個々の特別支援学級の子どもたちの教育課程の編成がどうあるべきなのかという点が前提にあります。学習内容等につきましては各学校の教員が、保護者とのしっかりとした合意形成のもとで教育課程を編成し、その中で活用する教科書をどのように選定していくのかということになりますので、機会がございましたら教育委員会からも各学校へご指導いただければと思います。また、就労の件に関しましては、中学校のキャリア教育だけではなく、小学校でも進路指導は特別支援教育において重要な位置づけになってきておりますので、小学校から活用できる教科書を選定しております。

○教育長

さまざまなご意見をいただきましたが、全体的に教科書の見

(加嶋 幸彦)

やすさや、イラストがやわらかい印象で手に取りやすいこと等いろいろな種類の教科書を選んでいただき、価格帯においても高価なものではない点が良いと思います。使う側としては、いかに子どもたちの実情に合わせて厳選し使用するかという教材選択する力と、また、それを活用する力も問われると思いました。長時間のご説明ありがとうございました。

○教育長

(加嶋 幸彦)

他に何かご質問はございませんでしょうか。

学校教育法附則第9条の規定による一般図書については、新たに追加された12冊を加えた351冊に、先ほど説明がありました※印の下の学年で使用する場合、特別支援学級及び特別支援学校小中学部で拡大教科書を使用する場合も含めて採択してよろしいでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長

(加嶋 幸彦)

それでは学校教育法附則第9条の規定による一般図書については、答申どおり採択します。

以上で採択を終わります。

《教科書図書選定委員会委員 退室》

日程第7 協議及び報告事項

○教育長

(加嶋 幸彦)

続きまして協議及び報告事項に移ります。

報告第22号「8月教育委員会開催行事予定について」事務局から説明をお願いします。

○教育総務課長

(井上 尚博)

報告第22号「8月教育委員会開催行事予定について」事務局から説明

○教育長

(加嶋 幸彦)

何かご質問等ございますか。

なければこのように進めてまいりますので、8月もよろしくをお願いします。

○教育長
(加嶋 幸彦)

それでは、ここからは非公開事案となりますので事務局関係者以外のご退室をお願いいたします。

《事務局関係者以外退室》

《非公開審議》

○教育長
(加嶋 幸彦)

それでは以上をもちまして教育委員会定例会を閉会いたします。